

帝王切開術後の硬膜外麻酔による運動障害と離床についての検討**1. 研究の対象**

2014 年 12 月から 2023 年 12 月までに当院産科で脊髄くも膜下麻酔併用硬膜外麻酔により帝王切開を実施された褥婦

2. 研究目的・方法

帝王切開術では術後鎮痛として硬膜外麻酔が施行されています。硬膜外麻酔は鎮痛のために有用ですが、運動障害を生じる可能性があり、かえって術後の離床の妨げとなることがあります。使用薬剤の内容や、硬膜外麻酔カテーテルの挿入部位などが、運動障害の関連すると考えられていますが、その詳細は明らかになっていません。本研究では硬膜外麻酔の手法別による鎮痛および離床について検討します。これにより、帝王切開術後によりスムーズな離床を支援できることが期待されます。

本研究は、秋田大学医学部附属病院の診療録（カルテ）を用いて情報を収集する後方視的検討です。

研究実施期間：研究実施許可日 ～ 2025 年 12 月 31 日

利用を開始する予定日：2024 年 4 月 25 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

秋田大学医学部附属病院の診療録（カルテ）を用いて情報を収集し、解析を行います。

収集を行う具体的な項目は、術後 1 日目診察時の痛み具合、嘔気の有無、運動障害の有無および程度、離床の可不可、不可だった場合その原因。また、出血量、術式、妊娠分娩歴、出血量、硬膜外カテーテル挿入部位、使用薬物、分娩週数等です。研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、生年月日、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は削除して利用します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：秋田大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座 助教 小野寺洋平

〒010-8543 秋田県秋田市本道 1-1-1

電話：018-884-6163 FAX：018-884-6447

-----以上